令和6年度12月発行

Okayama Soja High School

総高通信

中学生のみなさん
保護者のみなさんへ
総高の「今」を綴ります

9月6日 体育祭

第56回総高祭
全総高力(ぜんそうこうりょく)で行けるとこまで
to the next to the 1番上!!

ディオニュソスブロック【桃】

普通科 **塚常 朋己**さん [3年4組・総社西中出身]

まず初めにあまり真面目に読まないでください。自分は桃色のディオニュソスブロックのブロック長を務めていました。なんで桃色にしたかは他のブロックから一番人気な色だったからです。自分的には赤が良かったんですが一番に選べる権利を得て、ちょっと意地悪してやろうとして桃色を選びました。
本題の感想として、一番に思いつくのは楽しかったことと、絶対一人では無理だったということです。まず、すごく楽しかったし、達成感も得られてとてもいい経験をすることができました。しかしこのような経験をするには一人では絶対無理だったと思います。支えてくれたり、盛り上げてくれたりする頼りになる仲間がいたり自分たちがのびのびとできる環境を提供してくださったり、陰で支えてくれる先生方がいたり、嫌な顔せずちゃんとついてきてくれる後輩がいたりと、様々な人の支えがあったからこそだと思い、このようなことが当たり前ではないと改めて気づくことができました。
また、様々な出会いもあり普通なら関わらなかった人とも関われて、個人的にはこれが一番嬉しかったです。
また自分がブロ長になった動機は、モテたいという馬鹿らしいことです。こんな馬鹿らしい動機一つでこんなにいい経験ができたので、来年はみなさんもこんな馬鹿なやつでも務められたんだと思い、ブロ長とは言わなくても、少しでも人の前に出たり、なにか一つでも役割を見つけ頑張ってください。
最後にディオニュソスの皆さん最後までついてきてくれてありがと! 大好き! 返事はいりません!

アポロンブロック【オレンジ】

家政科 **服部 麻那**さん [3年1組・庄中出身]

私はブロック長という役割を通して、チームワークの大切さや支えてくれる人が居るこの心強さについて改めて知ることができました。ブロック長は進捗状況を把握しながら日程を組んだり、選手宣誓やかけ声の内容を決めたりと、多くの役割を並行して行う必要があります。その中で模擬店舗やドレス製作、ファッションショーの準備を進める日々は正直なところ手一杯でやりたいことを完璧にこなすには時間が足りないと感じることもありました。そんな時に支えになってくれたのが、ブロックを率先してまとめてくれた応援団長、協力してくれた後輩たち、いつでも「手伝うよ」と声をかけくれた友達、的確なアドバイスをくれた先生方、そしてどんな時でも「がんばってね」と送り出してくれた家族の存在でした。一人では抱えきれなかったことも、多くの人の助けがあったからこそ、乗り越えることができました。無事、総高祭を迎え、ファッションショーは大成功を収めることができました。ステージ、展示の部では、後輩たちの頑張っている姿を見て、何度も元気をもらいました。
そして、体育の部では、競技だけではなく応援合戦やシンボルアートでもみんなの力が合わさり、3位という結果を残すことができました。ブロック長は責任のある大変な役割でしたが、私にとって最高な思い出となりました。
アポロン、最高!

アフロディーテブロック【パープル】

普通科 **山縣 七寧**さん [3年6組・玉島北中出身]

雲ひとつない青空のもと、私たちブロック長の選手宣誓の声がこだました。
いよいよ待ちに待った総高祭体育の部のスタートである。私たちは灼熱の8月から準備を進めていた。この夏は過去に例を見ない猛暑が続いた。熱中症アラートの鳴り響くなか、危険を顧みず、シンボルアート制作、応援団活動、競技種目練習に励んだ。その集大成を発揮するために、各ブロック一致団結して取り組んできた。
私たち3年生にとっては最後の総高祭。個人100メートル走から始まり、各種リレー、長縄跳びや玉入れなど砂埃をまきあげ全力で取り組んだ。大きな声援が響き渡り、全種目、白熱した戦いがくり広げられた。勝敗はもちろん、最高に楽しんでわすれない思い出になった。今年の総高祭がいちばん楽しい思い出になったのは、サポートしてくれた先生方や優しい後輩達に恵まれていたからで、来年に後輩達がつくる総高祭はさらに良いものになると思う。苦しい時支えてくださった先生方、たくさん話して各ブロックを支えたブロ長メンバー、不甲斐ない私についてきてくれたアフロディーテのみんな、本当にありがとう。最高の総高祭でした☆

ゼウスブロック【グリーン】

普通科 **中村 柊斗**さん [3年3組・総社西中出身]

今年の総高祭を終えて、今までで一番楽しかったと思える総高祭でした。今年は文化祭と体育祭が平日開催で初めての経験でそわそわしていました。台風の影響もあり、準備の時間も少なくなり、計画を立て直したりなど今までになかったことが多くあり、本番にいい形で迎えられるかとても心配でした。いざ本番になると今までの心配なんて吹き飛んでしまうくらい楽しくて、充実した3日間を送ることができ、無事最後の総高祭を終えることができました。
ブロック長をしてみて色々な壁にぶつかることも多かったけど、周りに支えてもらって、改めて協力することの大切さを学ぶことができました。応援団長などそれぞれのリーダーが中心となって全員がクラスのために、ブロックのために動いてくれたから最高の思い出ができました!ブロック長になって本当に良かったです。総高祭を開催することができたのは先生方、保護者の方々、地域の方々のおかげです。ありがとうございました。最後に頼りないブロック長についてきてくれたゼウスのみんな本当にありがとう! みんなが協力してくれたから最高の思い出を作ることができました。来年、再来年このブロックの中からブロック長になってくれる子がいたら嬉しいです。最高の思い出をありがとう!

ポセイドンブロック【ブルー】

普通科 **岡野 雅斗**さん [3年5組・総社西中出身]

総社高校の大きな行事である総高祭は文化の部・体育の部があり、3学年縦割りのブロックを1チームとして計6チームで学年問わず、一致団結し優勝を目指す行事であり、僕はそのブロックのリーダーであるブロック長となりましたが、今までクラスのホームルーム長はしたことはあるのですが3学年のリーダーは初めてで、うまくみんなの指揮を執ることができるか心配していましたが、案の定、最初は緊張で全然ダメダメでしたが、友達や先生の支えがあったため、最後は中途半端ながらも指揮を執ることができました。「文化祭」では、3年生のクラスの出し物で僕のクラスはたこ焼きをしましたが、僕はたこ焼きを作るのではなく、商店を生徒や先生などに売る、売り込み役をしました。そのおかげかはわからないですが、見事、商品を完売することができました。多分、作る人のテクニックがあったからだと思いました。体育祭の一つの種目の応援合戦は、僕たちにはダンス部がいなかったので、何を踊るかどのような配置にするかも、あやふやでしたが、友達同士で話し合い、少しでも優勝に一歩でも近づけるよう頑張りましたが、結果として形には残らなかったですが、クラスの人、他学年の人との仲として形に残すことができました。また自分はブロック対抗リレーに出場し、アンカーを務めました。リレーチームである人たちが1位で渡してくれましたが、ゴールテープ前で抜かされてしまい2位になってしまい、ブロックの人たちの応援が水の泡になってしまい今でも心に残っています。「文化祭」「体育祭」を通して大きく成長することができました。さらに、クラスメイトとの仲も深まりに深まったと思います。

アルテミスブロック【レッド】

普通科 **清水 結**さん [3年2組・倉敷西中出身]

私は今年の総高祭でアルテミスブロックのブロック長を務めました。私たちのブロックでは、学年関係なく協力しあい、力を尽くして戦おうという意味を込めて「龍騰紅闘」というブロックスローガンのもと毎日練習を頑張りました。応援練習では曲決めから振りつけまで全て自分たちで行いました。速いテンポや隊形移動も多く、初めはダンスがなかなか揃いませんでした。ですが、各学年模擬店、ステージ、展示の準備もある中で放課後に残って練習したり、動画を見て各自が自主的に練習してくれたおかげで初めは揃わなかったダンスも徐々に揃うようになりました。限られた練習期間の中でどう伝えたらみんなが分かってくれるかを考え、3年生だけでなく1、2年生とも積極的にコミュニケーションをとるよう工夫しました。そうすることでブロック全体の雰囲気もよくなり、結果、競技一位、応援一位、総合優勝を達成することができました。毎日暑い中練習を一緒に頑張ってきたアルテミスブロックのみんなには感謝の気持ちでいっぱいです。こんな未熟な私についてきてくれてありがとうございました。このブロックで優勝できたことは私の一生の思い出です。
アルテミス、だいすき!ありがとう!!

9月4・5日 文化祭

文化祭は1年クラス展示、2年ステージ発表、3年模擬店を行いました。

ファッションショー

家政科 **湯浅 弥桜**さん［3年1組・高松中出身］
家政科 **原 優衣里**さん［3年1組・庄中出身］

私たち家政科3年生は文化祭で3年間の集大成であるファッションショーを行いました。『Brilliant』というテーマでファッションショーを行いました。このテーマは華やかという意味があり、家政科の全体目標である「Bloom Brilliantly～あなたの花を咲かせよう～」でもあるように一人ひとりが輝けるようなショーができるようなテーマにしました。ドレス製作ではデザインを自分たちで考え、家政科で身につけた技術を活かし試行錯誤を重ねて自分の理想のドレスを作ることができました。

ファッションショーに向けて、それぞれのチームが持つコンセプトに合った構成にするために話し合いを重ねながら協力することができました。ドレスだけでなく花束や銃などの小道具も自分たちで決め、全体の雰囲気を演出することに力を入れました。また本番に向けての練習ではウォーキング講習会で教わった歩き方を取り入れ、自分たちでアドバイスをしあい、たくさん練習を重ねるたび完成度が上がっていきました。

迎えた文化祭本番では練習の成果を発揮し、全員が観客の前で自信を持って自分を表現することができました。拍手や歓声を聞き、胸がいっぱいになりました。ファッションショーのあと家族や友人が泣いて喜んでくれている姿を見てここまで頑張ってきてよかったと感じました。一生に一度の思い出に残るファッションショーを作り上げられたことは、私たちにとってかけがえのない経験です。応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました。

6月15-21日 世界銀行 防災グローバルフォーラム 高校生防災サミット（場所：兵庫県姫路市）

世界銀行主催の防災イベント。総社高校に白羽の矢が立った。日本全国から４校の参加。総社高校として世界になにを発信すべきなのかと、10名の生徒が約３ヶ月間、防災について真剣に取り組んだ。西日本豪雨災害から学んだこと、語り継いでいくこと、地域の方々の取り組みや総社高校の生徒が取り組んだことなど、プレゼン資料を作成し、スピーチの練習、そして、他３校の生徒とＷｅｂミーティングを繰り返した。当日は、和気藹々としながらも自分事として災害をとらえ、知恵を寄せ合い「防災宣言」を作成。防災グルーバルフォーラムの開会式で堂々と英語で発表した。総社高校独自の取り組みを紹介する際には、家政科が作成した「まびっこかえる」を用いてわかりやすく伝え、また、自分たちのブースを訪れる海外の方に英語を用いて紹介することができた。たくさんの企業の方々とも、防災をキーワードに対話をしていくなかで、多くのことを学ぶことができた。「時を選ばない災害」その時のために、自分たちにできることをこれからも考えていきたいと強く誓った7日間となった。

学校生活

1年を通じて様々なイベントが行われました。

入学式

球技大会

探究活動

部活動の活躍

2024年度 全国大会出場
- ハンドボール部（3位）
- 書道部 ● 合唱部 ● 水泳同好会 ● 卓球部

2024年度 中国大会出場
- ハンドボール部 ● 剣道部
- ソフトテニス部 ● 弓道部
- 陸上競技部 ● 合唱部 ● 水泳同好会

※二次元コードより本校ホームページをご覧ください
Instagram, facebookにても学校情報発信中！見てね！

＜社会貢献活動展開中!＞

総社高校では、様々な団体等からの依頼に基づいて社会貢献活動を行っています。総社市や総社市社会福祉協議会をはじめとする団体から農家の方まで、幅広くお手伝いをしています。高校生が学びながらお手伝いできることがありましたら、一度学校へご連絡ください。
総社高校　TEL（0866）93-0891

岡山県立総社高等学校
〒719-1126　総社市総社3-9-1
TEL（0866）93-0891
FAX（0866）93-0893
http://www.soja.okayama-c.ed.jp/
総社高校　検索